

済生会福岡総合病院 vol.067

ご自由に
お取り下さい

**Take
Free**

もくじ

- 2 この人に聞きたい
- 4 病診連携ネットワーク
- 6 先生おしえて vol.67
- 7 放射線のおはなし
- 8 おうちでヘルスケア
リハビリテーション部より
- 9 小呂島定期健康診療派遣記
- 10 患者さんの声
- 11 TOPICS
ユマニチュード講演会
健康セミナー開催報告
退任医師
- 12 各科診療担当表



無料低額診療と生活困窮者支援事業を行っています。

●毎月第2水曜日には「健康相談会」も実施しています。

お問い合わせ先:092-771-8151(代表) 医療相談室まで

当院の理念

地域社会の皆さまや先生方に信頼され真の満足をしていただける病院づくり

当院の基本方針

済生の心で医療・福祉に貢献します

救急医療を充実し、高度専門医療を推進します

良質で安全な医療を提供します

地域医療連携を積極的にすすめます

この人に聞きたい

Medical Interview

眼科 主任部長

こばやし よしゆき
小林 義行 医師



プロフィール

大分県出身
2009年 鳥取大学医学部卒業
2011年 九州大学眼科入局
2017年 九州大学大学院卒業
2021年 佐賀大学病院
2022年 九州大学病院
2024年 済生会福岡総合病院

視機能温存のため最善な治療、
最新の薬剤で患者さんをサポート

当院の眼科では白内障手術、硝子体手術、緑内障手術、眼瞼手術など幅広い手術を行っており、糖尿病黄斑浮腫や加齢黄斑変性症の抗VEGF薬治療では地域の中核を担っています。今回は、今年4月に着任した眼科・主任部長の小林先生にお話を伺いました。

4月に着任して4カ月がたちましたが、いかがですか？

都市部での勤務も部長職も初めてでしたが、一緒に着任した筒井先生や外来スタッフの助けもあり、軌道に乗りました。前任の九州大学病院での経験を活かし、スタッフとのコミュニケーションを特に重視しています。手術室の協力もあって、5月から手術件数は例年以上に増えており、緊急性のある網膜剥離や緑内障の新しい手術（マイクロシヤント）も始めています。

「ご専門の糖尿病網膜症について教えてください。」

糖尿病網膜症は現在、日本の失明原因の第3位です。特に働き盛りの年齢で視力低下を起こすことが多く問題となっています。内科の先生からの紹介で眼科を受診される患者さんも多いのですが、まだ糖尿病の目への影響についてご理解が不十分な方も少なくありません。自覚症状がないからと言って眼科受診をされていない方も多く、これは大きな問題だと感じています。

糖尿病で高血糖状態が長く続くと末期には眼内に新生血管が発生し、網膜剥離や緑内障で失明する危険性があります。一方で、早期でも糖尿病黄斑浮腫により視力が低下することがあります。この糖尿病黄斑浮腫は自覚症状が乏しいことがあり、気付いたときには治療しても視力が戻りにくくなっていることもあります。現在では、お薬を目に注射する硝子体注射で治療できるため早めの眼科健診が重要です。当院

では日本で使用できる最新の薬剤まで取り揃えており、患者さん一人ひとりの状態に合わせた最適な治療を提供できるよう努めています。

「眼科医になろうと思ったきっかけはなんですか。実際に眼科医になってみて感じることは？」

父が医師だったので子供のころから医師を目指していました。大学では地域医療サークルに入り、一時期は内科医を考えていましたが、学生実習で見学した眼科の緻密な手術に魅力を感じ、眼科医になりました。

眼科の病気には白内障のように手術で視力が回復しやすいものとそうでない病気があります。視力が回復して患者さんが笑顔になるのを見るのはとても嬉しく励みになります。一方で、いまだ視力回復が難しい病気もあります。そういった場合には、残った視機能でできるだけ温存できるように最善の方法を考え、患者さんのお悩みを傾聴しサポートすることに努めています。

「趣味やストレス発散法などあれば教えてください。」

3歳と4歳の子供と散歩したり公園に行ったりするのが休日の楽しみです。赤ちゃんのときにはできなかったことが徐々にできるようになって、大人っぽいことを言い出すのがかわいくて癒やされます。また、以前通勤時間が長かった時に始めた音声読書を続けます。YouTubeの本要約チャンネルで面白そうな本を見つけて、朗読アプリで移動中などに聴くのが趣味です。



眼科からのお知らせ

眼科の外来日が

2024年9月より変わります

	月	火	水	木	金
午前		外来		外来	外来
午後	手術	検査処置など	手術	検査処置など	検査処置など

木曜日が外来日になります

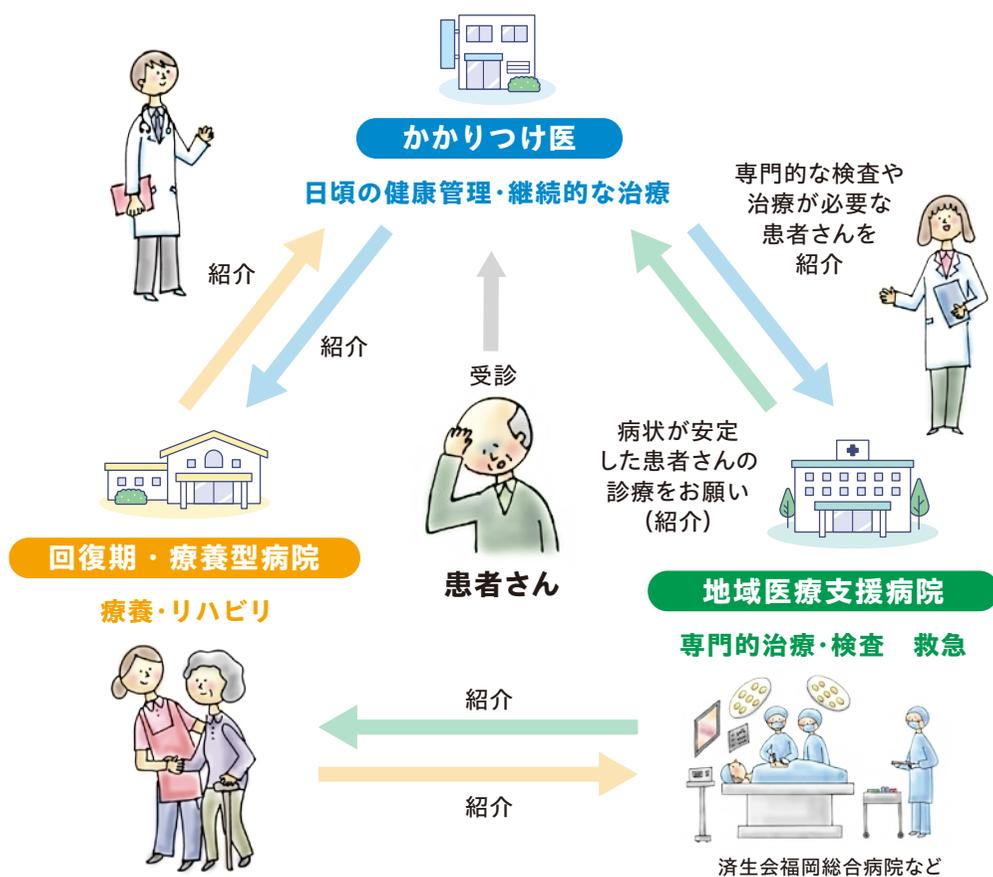
ご不明な点は、眼科外来窓口までお尋ねください。



かかりつけ医をもちましょう

地域医療構想について

「調子が悪いから、お医者さんに診てもらおう」と思ったとき、どの病院を受診するか、どのように選択されていますか？「自宅から近い」「評判がいい」「大きい病院だから」…とさまざまな理由があると思いますが、国の施策である「地域医療構想」では、継続した医療が必要な場合、1つの医療機関ですべての診療行為を行うのではなく、**同じ地域に属する複数の医療機関がそれぞれの役割を分担し、特色を生かした診療を行うこと**で患者さんにとってより質の高い医療を提供していく形を構築しようとしています。



急病や重大な病気が見つかったときには、専門的な治療や検査のため高度専門医療機関の受診ができるよう地域の医療機関は緊密に連携しています。こうして皆さんの命や健康は支えられています。安全で安心な医療を受けるため、まずは**ご自身が住む地域において、パートナーとなる“かかりつけ医”**をもちましょう。

まつばら耳鼻咽喉科

院長 松原 尚子 (まつばら なおこ) 先生

診療内容 耳鼻咽喉科、アレルギー科

みみ・はな・のどの
かかりつけ医となるクリニックです



3月までの済生会福岡総合病院勤務を経て、姪浜駅から徒歩5分、内浜小学校北門そばに「まつばら耳鼻咽喉科」を2024年5月にオープンしました。みみ・はな・のどのかかりつけ医としてお子様からご年配の方まですべての方を対象に診察させていただきます。体調が悪い時も安心して治療をうけていただくために、皆さまの訴えをよく聞き丁寧に病状を説明することを心がけています。どうぞお気軽にご来院ください。

〒819-0002
福岡市西区姪の浜5丁目7-23
TEL 092-892-8733

【受付時間】
平日 9:00 ~ 12:30
14:00 ~ 17:30
(木曜、土曜は午前中のみ)

【休診日】
木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



病診連携ネットワーク

桜坂内科循環器科

院長 松本 研三 (まつもと けんぞう) 先生

診療内容 内科、循環器内科

これからも地域の皆様に寄り添った
かかりつけ医として診療してまいります



当クリニックは前院長が1999年に開設され、かかりつけ医として尽力され25年が経ちます。2024年4月に院長交代し、私、松本研三が診療の中心を担っています。100年時代と言われるこれからも、皆様が健康で、生き生きとした生活を送れるようお手伝いをしてまいります。風邪や生活習慣病の一般内科相談から、専門医として心臓の病気の診療、どこにかかれば良いかわからない時などの窓口として、お気軽にご来院ください。

〒810-0023
福岡市中央区警固3丁目6-1-2F
TEL 092-736-1700

【受付時間】
平日 9:00 ~ 12:30
14:00 ~ 18:00
(水曜、土曜は午前中のみ。
土曜日の診療は13:00まで)

【休診日】
水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



先生おこえっ!!

脳動脈瘤に対する最新のカテーテル治療

脳神経外科 中村 普彦 医師



vol.067

今回は、脳動脈瘤に対する最新のカテーテル治療についてお話しします。



脳動脈瘤は「くも膜下出血」を起こす

脳動脈瘤とは脳血管の分枝部に生じる血管の膨らみで、破裂するとくも膜下出血を引き起こします。くも膜下出血が起こると30%の患者さんしか自立した生活を送ることができません。破裂した動脈瘤は、全身状態が許す限り、再破裂予防のための治療が必要です。また、未破裂の状態で見つかった場合、部位や大きさによって治療するかどうかを決めることとなります。

脳動脈瘤の治療法は？

治療法は、開頭手術と血管内治療（カテーテル治療）があります。近年では、カテーテル治療の進歩のおかげで、より低侵襲に治療できるようになったため、開頭手術よりカテーテル治療が世界的に多くなっています。カテーテル治療では、従来、脳動脈瘤の内部にプラチナ製の柔らかいコイルを挿入し、治療を行っていました。しかし、大

型なものや動脈瘤の間口が広いものは、治療成績が不安定で再発を起こしやすいとされてきました。

分枝部広頸動脈瘤に対する新たな治療

血管の分枝部の大型で間口の広い（分枝部広頸動脈瘤といえます）動脈瘤を治療するために開発されたものがWoven Endobridge（WEB）と呼ばれる、非常に細かい網目の袋の形をした器具（デバイス）です（図1）。

これを動脈瘤に留置することで内部に血のかたまり（血栓化）ができ、いずれご自身の血管の膜が覆うようになり動脈瘤が閉塞します（図2）。

すでに欧米では10年以上の使用経験があり、安定した治療成績が報告されています。また、導入されている施設は少ないですが、当院では早期から導入し、実際に治療を行っています（図3）。全身麻酔は必要ですが、足の付け根もしくは手の動脈の小さな入口からカテーテルを挿入し、手術時間は10分から20分と非常に短く、低侵襲な治療で高齢の方でも安心して受けることができます。また、正常血管に異物が導入されないため抗血小板薬の内服が短期間で終了できます。

脳動脈瘤と診断され、不安な方や治療法にお迷いの方は、ぜひご相談ください。



図1 袋状脳動脈瘤塞栓デバイス「WEB」



図2 WEBの脳動脈瘤内への留置イメージ



図3 前交通動脈瘤にWEBを挿入

ワークステーションを使った医用画像処理について

放射線部 診療放射線技師 桜井 翔

診療放射線技師の業務の一つにワークステーションを使った医用画像処理があります。CT画像など多数の薄いスライス画像データを元に再構築し、任意の断面、MIP（最大値投影法）、3D画像など様々な画像処理を行うことが可能です。また、他モダリティとのフュージョン（融合）画像を作成することも可能で、例えばCT画像データとMR画像データを合わせて一つにして表示ができます。依頼医や放射線科診断医に対し、画像診断の補助、その後の治療方針など大きなサポートになっており、画像診断において多方面から臨床に役立てられます。



また、医用画像ワークステーションで作成される3D画像は、診断だけでなく外科的手術やインターベンションでも手技を支援する画像として活用されます。例を挙げると動静脈の分離、脈管の自動抽出やトレース、肺や肝臓の区域分類、臓器の分離や体積の計測、腫瘍への流入血管の抽出など、様々な3D画像を作成します。

当院ではZiosoft zystation2、FUJIFILM Vincent V2、Philips Xtravisionといった医用画像ワークステーションを使用していますが、治療の高度化に伴いワークステーションの機能も拡大され、各科から症例ごとに求められる医用画像処理を行っています。

医用画像処理について、何かご質問などありましたら気軽にお声掛けください。



CTデータから作成した手骨・心血管の3D画像



おろのしま
小呂島定期健康診療派遣記

総務課 松尾 博行

6月6～7日（2日間）小呂島にて定期健康診療を実施しました。小呂島は、福岡市西区姪浜から北西へ45kmに位置する周囲3km程の島で、医師のいない無医地区となっています。

毎年行う定期健康診療もコロナ禍で一時中断されていましたが、昨年から再開することができました。島民の皆さんとお付き合いは古くから続いており、今回で51回目の実施となります。医師をはじめ、歯科医師、看護師、メディカルスタッフ、事務員が島に渡り、診察室の設営、機器の配置、受付などを行いました。病院から運ぶ荷物が多いため、船から診療所への荷物の運搬は島の若い漁師さんたちにご協力をいただきました。

診療所となった「福祉会館」や「いこいの家」といった場所は、普段島民の皆さんが別の目的で利用されている建物であり、「健診施設」に変身させる作業は大変苦労しました。今回は海の時化（しけ）のため、前日出発予定だった先発隊は出航できず、当日移動・当日設営という、例年とは違うスタートとなりました

が、島民の皆さんとの交流を楽しみに、汗を流しながら迅速に設営を行いました。

健診準備が整うと島に放送が流れ、島民の皆さんが続々と集まってきます。健診を心待ちにしていた方、お互いの長寿をたたえ合う方、そして私たちとの再会を喜んでくださる方がたくさんいらっしゃいました。「昨年の健診結果を受けて、済生会に通院しているよ」「毎年来てくれてありがとう」と、お声がけしてくださる方もいらっしゃいました。

この2日間の健診では、約70名の方を無事に迎えられることができ、当院への信頼と社会貢献活動の意味を実感できる事業であると感じました。

婦人会の方々にお食事をご用意いただき、新鮮な海の幸を堪能しつつ島の現状、島ならではの課題を伺うことができ私自身の視野も広がる2日間となりました。島民の方々の温かさやつながりを肌で感じ、胸が熱くなりました。済生会の原点であるこの活動を通じ、今後も継続してこの島の皆さんの健康を守り続けていきたいと改めて感じました。



おうちでヘルスケア
vol.11
正しい姿勢でリラックス
～呼吸筋ストレッチをやってみよう～

リハビリテーション部 理学療法士 永友 早由理



呼吸は生きるために欠かせない活動であり、私たちは1日に2万回以上も呼吸をしています。普段、呼吸を意識したことはありますか？

- 猫背や長時間のデスクワーク→浅い呼吸
 - 不安やストレスを感じた時 →浅く速い呼吸
- 不良姿勢!**

これらを改善するため呼吸筋のストレッチをやってみましょう!

肩のストレッチ
(吸う筋肉を意識)

首のストレッチ
(吸う筋肉を意識)

体幹のストレッチ
(吐く筋肉を意識)

背中ストレッチ
(吸う筋肉を意識)

胸のストレッチ
(吐く筋肉を意識)

正しい姿勢は、呼吸を深めて体と心の緊張をほぐすために効果的です!

「おうちでヘルスケア」は、動画でもお楽しみいただけます。当院YouTubeチャンネルはこちら



Topics

Topic 1. 『ユマニチュード』の考案者が来院。そのケアを学びました

6月24日(月)に、『ユマニチュード』の考案者であるフランスのイブ・ジネスト先生と日本にそのユマニチュードを広めた、東京医療センターの医師で日本ユマニチュード学会常任理事の本田美和子先生をお招きし、特別に病棟での実践と講演を行っていただきました。当院 総合診療部主任部長の田中和豊医師の尽力によるものです。



『ユマニチュード』は、フランス発祥のケア技法および哲学であり、「人間らしさを取り戻す」という意味を持つ造語です。『人間らしさと優しさに基づいた認知症ケア』を表現する言葉として、日本でも注目を集めている考え方です。今回、先駆者のお二人から直接レクチャーやお話を聞けるとあって、医師を含む多くの職員が参加しました。職員からは「ユマニチュードの大切さがわかった」「自分も実践したい」などの声が多く聞かれ、大変意義のある時間となりました。

Topic 2. 健康セミナー『みんなで学ぼう!女性の健康管理』を開催しました

7月6日(土)に当院主催の健康セミナーを開催しました。今回は医療法人親愛 天神クリニックの中川幹子先生にご協力いただき、月経痛や更年期障害など女性特有の病気や症状について医師がお話をしました。土曜日ということもあり、10～40代の女性を中心に64人の方にご参加いただきました。



今後も地域の先生方のご協力をいただきながら、病気や予防に関するイベントを開催する予定です。

日時:2024年7月6日(土)14:00～15:30 **場所:**警固神社社務所ビル5階(福岡市中央区天神)

テーマ:みんなで学ぼう!女性の健康管理

プログラム:〔司会〕 婦人科 主任部長 丸山 智義医師

- 『HPVワクチン(子宮頸がん予防)キャッチアップ接種のお知らせ』
- 『婦人科医がおしえる月経との上手な付き合い方』 婦人科 部長 米田 智子医師
- 『女性の健康をライフステージに合わせて考えよう!』 医療法人親愛 天神クリニック 中川 幹子先生

退任医師

5月31日 総合診療部 医員 田中 孝明 6月30日 救急科 医員 改田 祐紀
6月17日 腎臓内科 医員 岡田 美月 6月30日 総合診療部 医員 松水 和徳



《ご意見・お叱りの声》

●浴室について

マットがきれいすぎて棚においてある新しいマットで体を拭いてしまった。浴室をよく観察すれば分かったことかもしれないが、入院当日&手術前日で緊張しており、よく分からなかった。棚に「マット」の表示か「タオルはご持参のものを」等の表示があると間違えにくく助かる。マットは白色ではなく、茶や灰など異なる色で区別しやすいと助かる。(12階:無記名)

浴室のバスマットとバスタオルを間違えて使用させてしまい申し訳ありませんでした。タオル類の変更はすぐには対応が難しいため、まずはバスマットの保管棚の表記を大きく分かりやすく変更し、バスタオルの運用についても浴室にご案内を掲示しました。病棟スタッフ間で、入院時に分かりやすい説明を行うよう共有しました。貴重なご意見ありがとうございました。(看護部)

《お褒めの言葉》

初めての入院、手術で不安や戸惑いを感じていましたが、主治医の先生はじめ、病棟、手術部、リハビリ、その他スタッフの皆様の細やかな看護と優しさに触れて、安心して療養することができました。また、今後についての対応も薬剤師、ソーシャルワーカーなど他職種での連携もスムーズにアドバイスを受けられ、退院後に向けて不安なく前向きに考えられるようになりました。多くの方々を支えられ、助けていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。大変お世話になり、ありがとうございました。

お食事も美味しかったです。おごちそう様でした。(11階:無記名)

配膳やシーツを取り換えてくださるナースエイドの方々がいいつも元気で明るく丁寧に声かけしてくださって、こちらも明るい気持ちになりました。ありがとうございました。これからも入院患者さんに元気を届けてあげてください。

先生、看護師の方々、お忙しい中、ご対応ありがとうございました。些細な会話も私にとっては、心が和みました。癒やしをありがとうございました。面会受付の方も、とても丁寧に声かけてくださいます。毎回気持ちいい癒やされます。(10階:記名)



各科診療担当表

2024年8月1日現在

		月	火	水	木	金	
内科 (糖尿病、腎臓、感染症、血液)	糖尿病	澤田	緒方	緒方	澤田	中野	
	腎臓			安井	安部		
	感染症			岩崎		深町	
	血液	齋藤(再来予約のみ)	齋藤(再来予約のみ)	吉野(再来予約のみ)	九州大Dr(再来予約のみ)	齋藤(新患のみ)	
渡航ワクチン外来 (完全予約制)					感染症Dr(13:30~16:00)		
心療内科 新患*予約制	新患			棚橋(午前)	棚橋(午前)		
	再来		棚橋(午後)			棚橋(午後)	
消化器センター (消化管、肝胆膵)	内科	消化管	水谷	落合	水谷	落合	向坂(第1.3.5)・梅谷(第2.4)
		肝臓・胆道 膵臓・肝臓		立花	明石	立花	明石
	外科	消化管	大野	宮崎		大野	宮崎
		肝胆膵	定永	松浦・本坊	定永(化療のみ)・藤本	定永・藤本	本坊
呼吸器センター	内科	午前	中西・九州大Dr	古山	古山(再来予約のみ)・九州大Dr	中西	古山・今田
		午後	古山(再来予約のみ)	今田(再来予約のみ)			
	外科		平井・高田		平井		
総合診療部	午前 (8:30~13:00)	交替制					
	午後 (13:00~17:00)	※当院は臨床研修病院のため、指導医の指導のもと研修医が基本的に診療を行っています。					
心臓血管・大動脈センター	循環器内科 新患・再来*予約制	新患	大井・内川	末松・巷岡	久保田・石北	野副・長友	中城・権藤
		再来	長友・萬納寺	大井		久保田・三宅	末松
	心臓血管外科 新患*予約制	新患		峰松	峰松		
		再来		森田	峰松		福岡大Dr(再来予約のみ)
血管外科			伊東・岡留			伊東	
乳腺外科 (完全予約制)			茂地 九州大Dr		茂地 九州大Dr	茂地	
がん治療センター *予約制	化学療法外来	新患				齋藤	
		再来	齋藤	齋藤	吉野	九州大Dr	
	緩和ケア外来 ゲノム外来				交替制 交替制		
脳卒中センター	脳神経外科	(午前)	梶原・山川	交替制(新患のみ)	河野・丹羽		河野・中村
		(午後)	中村				
	脳神経内科	新患(午前)	田中	園田	川尻	田中・原	近藤
		再来(午後)	近藤	川尻・田中	田中	川尻・原	園田
泌尿器科		上領	上領(第1・3・5火曜のみ)	上領	上領	上領	
整形外科 (要紹介状)		水内・屋良・松本	石橋・泊・宮房	石橋・春田	水内・鶴・宮房	屋良・春田・宮房	
形成外科 (要紹介状) *診療時間 8:30~11:00		権藤・岡村・野田	権藤・岡村・野田	権藤・岡村・野田	×	権藤・岡村・野田	
婦人科 (要紹介状) 新患*予約制		西・松浦・中島	丸山・米田・田淵	西・田中・田淵	坂井(再来予約のみ)・松浦・田中	丸山・米田・中島	
眼科 ※2024年9月より水曜日が手術日、木曜日が外来日に変更		×	小林・筒井	小林・筒井	×	小林・筒井	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科 (要紹介状)		小山・原	増田・原	交替制 新患のみ(8:30~10:30)	小山・増田	交替制 新患のみ(8:30~10:30)	
放射線科		中山・稻盛	中山・稻盛(再来)	中山・稻盛	中山・稻盛	中山・稻盛	

◆初診の方は、できるだけかかりつけ医の紹介状をお持ちください。 ◆土曜日は全科休診です。 ◆×は手術日のため、休診です。
◆当院は厚生労働省の方針に従い、紹介状をお持ちでない方は初診にかかる選定療養費を申し受けます。

受診(初診)受付時間
平日
午前8:30~11:30

濟生ふくおか ふくふくネット vol.067 2024年8月発行

- 発行：濟生会福岡総合病院
福岡市中央区天神1丁目3-46 tel 092-771-8151
- 発行責任者：松浦 弘
- 印刷：株式会社西日本新聞プロダクツ

ホームページへの
アクセスはこちら

